

障がい福祉サービス事業所

可愛いワンちゃん・ネコちゃん



ある動物病院で会った方の話ですが、「私ヘルパーの仕事をしています。利用者さんの事情ができて飼えなくなった犬や猫 6 匹世話しています。」と言われていました。

私の友人も利用者さんが飼えなくなった猫 10 匹を SNS で飼い主さんを探されていました。

我が家にも利用者さんが飼えなくなった猫がいます。

昔と違って、今は犬も猫も人間と同様、長生きになっています。

犬の平均寿命は 14.48 歳、猫の平均寿命は 15.45 歳です。猫に至っては 20 歳を超えて長生きする例もあるそうです。

もし、60 代で子犬や子猫を飼い始めたとしたら、犬も猫も飼い主が 70 代後半まで生きることになります。それまで元気でいればいいですが、先のことはわかりません。病気になって入院になったり、介護施設に入居することにでもなったら、ペットの世話はどうすればいいのでしょうか。本当に大変な問題です。

最近では、ペット型ロボットも多く販売されているそうです。

セラピー効果はもちろん、ペットロボットと会話をすると、言葉を発する機会がグーンと増えるため、脳の活性化による認知症予防や進行緩和も期待でき、口の中の機能低下も防いでくれるそうです。

また、「食後の薬を飲んでね」「血圧をはかってね」「喉が渴いていなくてもそろそろお水を飲んでね」などの忘れがちな生活習慣を思い出してもらえることができるそうです。

みなさんはどちらがいいですか？

野崎 留美